

農 研 速 報

平成 30 年 7 月 23 日発行
茨城県農業総合センター農業研究所作物研究室
〒301-4203 茨城県水戸市上国井 3402
TEL 029-239-7212 FAX 029-239-7306

水稻の生育状況（7 月 23 日現在、水戸市）

地域名	移植時期	生育ステージ	対平年遅速	生育概況及び今後の栽培管理	備考
茨城県 (水戸市)	5 月 1 日	「あきたこまち」 乳熟期 「コシヒカリ」 出穂期 「ふくまる」 乳熟期	「あきたこまち」 2 日早い (出穂期) 「コシヒカリ」 3 日早い (出穂期) 「ふくまる」 3 日早い (出穂期)	◇7 月第 2 半旬～7 月第 3 半旬の平均気温は平年より高く、生育期間では 0.8℃高かった。同期間の日照時間は平年並で、生育期間では平年比 104%であった。 「あきたこまち」、「ふくまる」の出穂期は 7 月 14 日であり、「あきたこまち」で平年より 2 日早く、「ふくまる」で 3 日早い。「コシヒカリ」の出穂期は 7 月 23 日であり、平年より 3 日早い。 草丈は「あきたこまち」で平年より短く、「ふくまる」でやや短く、「コシヒカリ」でやや長い。茎数は 3 品種ともに少ない。葉色は「あきたこまち」、「ふくまる」でやや濃く、「コシヒカリ」で濃い。 ◆今後の栽培管理： 出穂期以降、落水時期までは、2～3 日で水がなくなる程度に入水し、自然落水後、田面が乾く前に入水する作業を継続する。 登熟期の早期落水は乳白粒や胴割粒などを発生させる。落水時期の目安は、「あきたこまち」で出穂期後 25 日、「コシヒカリ」、「ふ	●斑点米カメムシ類の成虫を対象とした防除適期は穂揃期である。穂揃期に成虫を確認した場合は防除を行う。また、幼虫を対象とした防除適期は乳熟期（出穂後 10～15 日頃）である。斑点米の発生を防止するためには、特に幼虫防除が重要である。 ●紋枯病は、玄米千粒重の低下や乳白粒の発生を引き起こす要因となる。昨年度に発生が多かった圃場では特に注意し、発生を認めた場合には早期に防除を行う。 ○5 月 1 日移植「コシヒカリ」は 7 月 13 日、5 月 10 日移植「コシヒカリ」は 7 月 17 日に穂肥を行った。

				くまる」で出穂期後 30 日である。	
	5 月 10 日	「コシヒカリ」 穂ばらみ期	「コシヒカリ」 平年並 (幼穂長からの 出穂期予測)	<p>◇7 月第 2 半旬～7 月第 3 半旬の平均気温は平年より高く、生育期間では 1.0℃高かった。同期間の日照時間は平年並で、生育期間では平年比 113%であった。</p> <p>◇7 月 19 日時点の「コシヒカリ」の幼穂長は 10.6 cm であり、幼穂長から予測される出穂期は 7 月 30 日で平年並である。</p> <p>草丈は平年並で、茎数は極少なく、葉色は淡い。</p> <p>◆出穂期までは 3～4 日間隔で入水と自然落水を繰り返す間断かんがいを行う。出穂期以降の栽培管理は 5 月 1 日移植に準じる。</p>	

水 稲 の 生 育 状 況

(作物研究室)

表1 5月1日移植(移植後79日、7月19日調査)

品 種	草 丈			茎 数			葉色(カラスケール)			葉色(SPAD)			主 稈 葉 数		
	本年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (本/㎡)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年 (枚)	前年差 (枚)	平年差 (枚)
あきたこまち	87.3	90 (96.6)	89 (97.8)	419	86 (487)	77 (547)	4.8	+0.5 (4.3)	+0.4 (4.4)	39.3	+4.4 (34.9)	+3.6 (35.7)	12.5	-0.2 (12.7)	-0.3 (12.8)
コシヒカリ	99.9	108 (92.1)	106 (93.9)	418	88 (474)	78 (538)	4.6	+0.6 (4.0)	+0.5 (4.1)	39.2	+6.4 (32.8)	+5.6 (33.6)	12.7	-0.3 (13.0)	-0.2 (12.9)
ふくまる	90.3	94 (96.3)	93 (97.0)	409	88 (464)	80 (509)	4.5	+0.6 (3.9)	+0.3 (4.2)	36.9	+3.2 (33.8)	+2.0 (34.9)	13.0	±0 (13.0)	-0.4 (13.4)

表2 5月10日移植(移植後70日、7月19日調査)

品 種	草 丈			茎 数			葉色(カラスケール)			葉色(SPAD)			主 稈 葉 数		
	本年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (本/㎡)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年 (枚)	前年差 (枚)	平年差 (枚)
コシヒカリ	80.9	90 (89.7)	96 (84.7)	338	62 (544)	69 (493)	2.9	-0.9 (3.8)	-0.7 (3.6)	30.8	-2.7 (33.5)	-1.1 (31.9)	12.0	-0.3 (12.3)	-0.4 (12.4)

() 内は前年または平年の実数値を示す。

【耕種概要】

1) 苗質: 稚苗

2) 植え付け本数: 5本/株

3) 基肥施肥量

「あきたこまち」・「ふくまる」 N:P₂O₅:K₂O = 0.8:0.8:0.8(kg/a)

「コシヒカリ」 N:P₂O₅:K₂O = 0.6:0.6:0.6(kg/a)

【平年値】

平成25～29年の5年間の平均値

4) 栽植密度(株/㎡)

	本年	前年	平成25～28年
あきたこまち	18.5	18.5	22.2
コシヒカリ	18.5	18.5	22.2
ふくまる	18.5	18.5	18.5

表3 幼穂長からみた出穂予測

移植時期	品種	調査日	主稈幼穂長		出穂期予測		
			本年 (mm)	平年 (mm)	本年予測値 (月日)	平年値※ (月日)	平年差 (日)
5/1移植	あきたこまち	7/19	-	-	-	7/16	-
	コシヒカリ		-	-	-	7/26	-
	ふくまる		-	-	-	7/17	-
5/10移植	コシヒカリ		105.8	121.4	7/30	7/30	±0

注) 予測は平成16、18年度成果「有効積算温度と幼穂長による水稻の出穂期予測」に基づく。
 幼穂が100mm以上の場合、「幼穂長と出穂前日数（星川）」に基づいて予測した。
 今後気温が平年並に推移した場合の予測。
 「ふくまる」は、「あきたこまち」の出穂期予測に準じた。

※ 平年値：平成25～29年の5年間の平均値

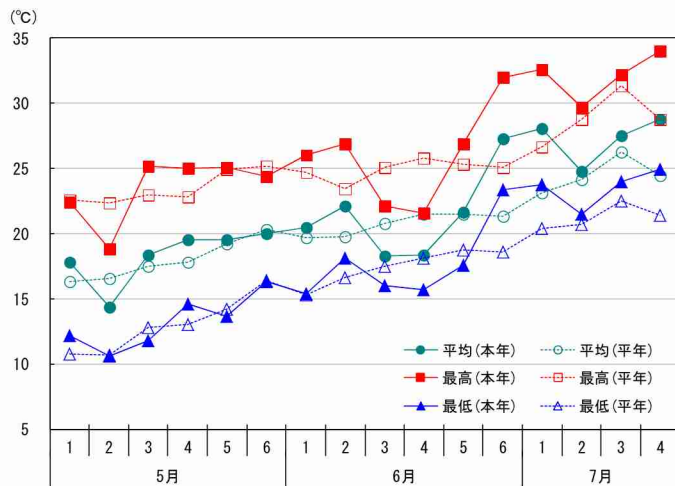


図1 半月別気温の推移（水戸地方気象台）

注） 平年値は平成25～29の5年間の平均値

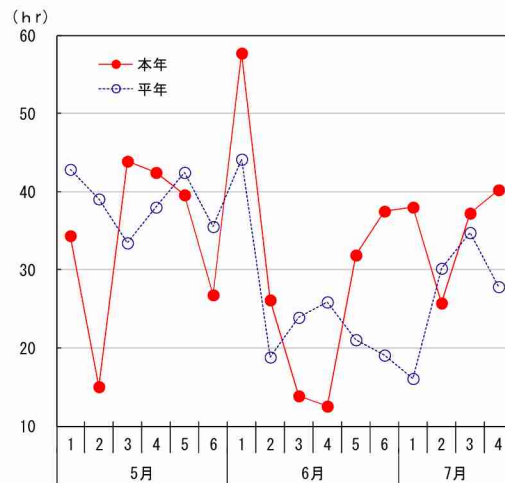


図2 半月別日照時間の推移（水戸地方気象台）

注） 平年値は平成25～29の5年間の平均値

移植時期別の 気象条件

移植時期	期間	平均気温(°C)			積算平均気温(°C)			積算日照時間(hr)		
		本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年比(%)
5月1日移植	5月第1半月～7月第3半月	21.2	20.4	+0.8	1611.2	1550.2	+61.0	483	466	104
5月10日移植	5月第3半月～7月第3半月	22.0	21.0	+1.0	1450.2	1385.9	+64.3	434	384	113

注） 平年値は平成25～29年の5年間の平均値

【 5 月 1 日移植の生育状況 】

撮影日：7/19

あきたこまち



コシヒカリ



ふくまる



9

コシヒカリ

